

連文

R E N B U N

の
Vol. 97
2014.8



平成26年度 連文定期総会

【◎日誌◎報告Report】

第61回 けしけし祭

第12回 ジュニア青木繁展

第50回 久留米短歌大会

第48回 仲縄忌俳句大会

第60回 久留米茶道連合会大茶会

久留米連合文化会

平成26年度定期総会を終えて

私の提案そして提言

会長 木村 清吾

平成26年度の久留米連合文化会総会が5月31日(土)午前10時、ホテルマリターレ創世で開催されました。そのオープニングセレモニーとして、オーボエ・稲吉恵梨奈さん、ピアノ・長谷川ゆかさんで、プーランク作曲『三つのノヴェレッテ』より第一番ハ短調を演奏していただきました。明るいムードの中で総会を始めようという私の意向を容れていただいた趣向でしたが、いかがだったでしょうか。

総会資料の冒頭に丸山豊先生の「招待の記」と私の西日本新聞インタビュー記事に掲載しましたが、その記事に私の考えが凝縮されております。どうかお目通しください。

26年度の運営方針に「子どもの久留米地域における芸術文化活動を支援する」の項目を新たに追加しました。各部門・部ではすでにこの方針に沿った活動を行われているところもありますが、連文全体で組織的かつダイナミックに展開していきたいと考えております。また総合文化部門では、この方針の具現化としてジュニアの団体加入を推進していくことになりました。

さらに現会員の中より若い世代の

力で連文を活性化していただこうと「青年部委員会」を置くことにし、そのための規約改正案を可決していただきました。



大震災被災地の芸術文化活動を10年間支援することを目的にして「リングの会」を設立しました。これは寄付を行うための方策で、連文内の組織であることに違いはありません。そのために総会資料の最後に「リングの会会則」を掲げています。こちらもぜひお目通しください。

久留米の芸術文化向上に貢献された方々、永年連文会員として活動された方々、大変ありがとうございました。また新しく連文会員となられた皆さん、共に久留米の文化の発展のために頑張りましょう。

平成26年度 受賞者祝賀会

総会終了後の正午から、平成25年度の久留米市功労者、久留米市芸術奨励賞、久留米市ふるさと市民賞を受けられた皆さんの祝賀会が行われました。こちらでもスタジオ・ダンス・ドリーマーの踊りやKick'sの演奏と、若く華やかなムードに包まれました。

受賞者の皆さん

久留米市功労者

森 史陽 (書道部)

久留米市芸術奨励賞

田中 慧 (洋画部)

元谷 京子 (書道部)

山田 明子 (洋楽部)

重松 結香 (洋舞部)

財津 真理子 (洋舞部)

ふるさと市民賞

藤間 道優 (日本舞踊部)

藤堂 輝若 (民謡部)

ふるさと市民賞を受賞されたお二人の喜びの声を以下に記します。(事務局)

日本舞踊部 藤間 道優



芸事の好きな明

治生まれの祖母に連れられて、6歳の6月6日にお稽古を始め、子ども用の衣装(今も私の宝物です)と三味線で踊ったものでした。高校卒業後に上京して内弟子修業...そして帰久してからも只ただ稽古の70年でしたが、5年ごとの発表会は7回を数え、毎年の弟子たちの勉強会もすでに43回となりました。この度の受賞を力にして、日本舞踊の更なる普及と市民芸術文化の発展に努めて参ります。

民謡部 藤堂 輝若



栄誉ある賞を受

賞できましたことは関係各位の皆様のお蔭と深く感謝申し上げます。

趣味の民謡が本業となりまして早や35年が過ぎましたが、その中で先人への感謝と恩返しのため31年前に始めました社会福祉施設等への慰問奉仕活動は、私の使命と考えてこれからも続けて参る所存です。

今回の受賞を機に更に精進を重ね、民謡界の振興発展、後継者の育成に寄与して参ります。

青年部委員会が発足

総会で承認されました青年部委員会は、該当会員73名から7名の役員を選出し、その互選によって委員長に宇美拓哉さん(洋画部)を選びました。

■役員(◎印は委員長。○印は副委員長)

文芸部門 ○山下亜紗子(学芸)

美術部門 ◎宇美拓哉 (洋画)

○成清紅葩 (書道)

吉本暢子 (デザイン)

舞台芸術部門

大中浩二 (映画演劇)

○藤間勘志龍(日本舞踊)

藤田瑠璃子(洋舞)

(事務局)

青年部委員会は、連合文化会本体にはとられない独自の活動ができるこの事ですが、具体的に何ができるかという段階にいたるまでには、まだまだ時間がかかると思います。

8月には役員選出、11月には総会と少しずつですが形は整いつつありますが、先ずはお互いの顔を知るという事から始めたいと思います。部門別では希薄になりがちな『横のつながり』を大切に、個々の思いを共有しながら連携または協力できるようになればと思っています。年齢的に仕事や家庭で忙しいでしょうけど、ご参加とご協力をよろしくお願いします。

(委員長・宇美拓哉)

石橋美術館

作品所蔵の継続要望

市民の皆さんの署名を

去る6月28日、石橋美術館収蔵の960点の美術品が東京のブリヂストン美術館へ移管されるという報道に驚かされました。青木繁の作品の散逸を恐れた坂本繁二郎画伯が、その所蔵と展示の施設を石橋正二郎さんをお願いしたことが石橋美術館創設の端緒となったことはよく知られているところです。その石橋美術館から青木繁の絵がすべて消えるという事態は何とも悲しいことです。私たちはせめて1、2点でも久留米の地に残していただきたいと、石橋財団へお願いすることにしました。要望書にはこの私たちの願い



青木繁「海の幸」重要文化財 石橋美術館所蔵

の私たちの願いに同意してください。さる多くの市民の皆さんのご署名を添えたいと思います。

すでに集約できました分を提出していますが、連文の皆さんには更なる活動をお願いします。

(会長・木村清吾)

久留米連合文化会会員美術展 特別企画展

久留米シティプラザ落成記念

「美術文芸コラボ展」始動に向けて

コラボ展開催の契機は昨年4月、森史陽前会長が写真部の提案をうけ、学芸部にその実現性につき打診されたことに始まります。6月には学芸部からより現実的な「拡大写排展」の形で開催提案がありました。提案者(写真部)がこれを受入れた時、この企画が動き始めました。その後、美術部会、文芸部会、企画運営委員会とそれぞれに企画説明がなされ、9月にはコラボ展実行委員会が結成され、各関係部長をはじめ、作業部会4名も承認されました。

11月に入ると作業部会4名による久留米市(都市建設部都市デザイン課)との交渉が始まりました。それは久留米連合文化会が主催する「けしけし祭」の中で櫨植樹を行うための用地確保のためでした。市との4回の協議の後、今年6月、久留米市都市建設部より久留米市大橋町の八津江川親水公園にて現地説明が行われました。今後、地元の方々の同意が得られれば、来年の「けしけし祭」の行事のなかで新しい川曾根に櫨植樹が出来ることとなり、誠に意義深いものだと思います。

ありますが、文化芸術に携わる久留米連合文化会が「美術文芸コラボ展」の開催を通じて、景観保全の意識を市民に啓発し、筑後の櫨風景を未来へつなぐ端緒になればと願うものです。

■美術文芸コラボ展実行委員会

会長 木村清吾(洋楽)

副会長 江口登(洋画)

副会長 谷川章子(俳句)

■作業部会

実行委員長 井口益次(写真)

江口登(洋画)

吉原政隆(学芸)

堤日出緒(川柳)

委員

小川寿一(日本画) 井内寛娟(水墨画)

小川幸男(洋画) 元田典利(彫刻)

秋山るみ子(工芸) 宮崎悠雲(書道)

久我敏博(写真) 市丸美波子(デザイン)

黒田充女(俳句) 名島ミヤ子(短歌)

(実行委員会会長・木村清吾)

「久留米市景観計画」の理念と耳納北麓の櫨風景の現実には大きな隔たりが

青木繁を偲んで

第61回 けしけし祭

今年の「けしけし祭」は3月23日(日)、歌・田本春香さん、バイオリン・藤吉浩代さんの『初恋』で幕を開けました。ご遺族の高山喜一郎さんや青木耕生さんとともに関係者各位が歌碑にカッポ酒を注ぎ、榎原利則久留米市長が祭文を読み上げられると、藤吉さんの演奏で『タイスの瞑想曲』が流れ、地元・山本小学校3年生の皆さんの20人が青木繁画伯について調べたことを発表し、『母います国』を合唱しました。さらに連文会員による献花(白石理敏さん)、献茶(岡宗幸さん)、献書(佐川大羊さん)、献句(俳句・大日方明美さん)、献句(川柳・吉本能子さん)、献歌(堀江英毅さん)、献吟(渡邊賢峰さん)と続きました。



山本小学校3年生の皆さん

〔献句(俳句)〕

繁碑や友の残せる書のぬくし

中島千佳

繁忌やけしけし山の青き踏む

大嶋シゲ子

あたたかやけしけし山に繁の忌

大日方明美

〔献句(川柳)〕

けしけし山で繁を偲び美酒に酔う

佐藤嘉代子

時移り櫨の木まばら繁の忌

吉本能子

〔献歌〕

あれごらんけしけし山の春の尾根
君を偲びてふたび仰ぐ

堀江英毅

(事務局)

第12回 ジュニア青木繁展

第12回 ジュニア青木繁展
絵画の部2月11日(祝)〜15日(土)、書道の部1月18日(月)〜23日(日)、久留米市庁舎2階のホワイエ・アートスペースにて開催しました。

小・中・高校生を対象にした公募展で、今回は絵画の部に1591点、書道の部に2191点の応募があり、絵画351点、書道886点の入賞・入選作品が展示されました。

表彰式は2月11日(祝)、市庁舎2階のく
るみホールで行いました。

大賞 絵画の部

南薫小学校4年 森山清流さん

一見、大胆でシンプルな作品だがよく見ると細かい作業や色が複雑に使ってあり大人顔負けの素晴らしい作品です。

(洋画部・宇美拓哉)



森山 清流 さんの作品

大賞 書道の部

長峰小学校3年 鶴元葵さん

楷書の基本点画がしっかりしていて堂々たる作品。名前も良く書けていて将来が楽しみです。

(書道部・成清紅葩)



鶴元葵 さんの作品

青木繁旧居 華道展

3月18日(月)〜23日(日)、青木繁旧居で、「けしけし祭」に合わせて草月流万年青会中野松芳社中の皆さんが開催されました。最終日には兜山での碑前祭に参加された会員の皆さんが訪れて、青木繁旧居保存会・荒木会長にお話を伺いました。

(事務局)



青木繁旧居 呈茶

7月13日(日)、青木繁旧居にて開催。

前夜の大雨と強風で開催できるか心配しましたが始めるころには雨も止み、たくさんの方々にご来館いただき、ひとときを楽んでいただきました。今年も江戸千家が担当しました。

(茶道部・森田宗尚)

第60回 連文茶道部大茶会

4月20日(日)、恒例の大茶会を少林寺で開催しました。昨年も雨でしたが、今年も朝からの雨で出足が心配されましたが、お昼頃には一杯となり、雨のなか緑に映える美しいお庭を眺め、流派の違いなども勉強しながら、お茶を楽しんでいたできました。出席者は500名ほどでした。



今年は一席・裏千家、二席・江戸千家、三席・表千家・白流、受付・大日本茶道学会と4流派が担当しました。

(茶道部・北島宗美)

「久留米文学」第61号を発行

5月1日付で発行しました。各部門の久留米連合文化会賞は次の通りです。

- ◎小説「残り火」 上野 歩
 - ◎千字随筆「トントン」 神宮司ほづみ
 - ◎短歌「尊厳死」 赤司 忠子
 - ◎俳句「はじまり」 利光千代美
 - ◎川柳「秘密話」 三枝七衣
- 1部・千円。事務局で受付けています。

第8回 連文工芸部会員作品展

5月13日(火)～18日(日)、えーるピア久留米市民ギャラリーで開催しました。

今回の会員展は、色彩豊かで個性的な作品が並び、明るい雰囲気の中、400名近い方々に楽しんでいただきました。特に、多くの連文関係の皆様にご来場いただき、感謝しています。



(工芸部・秋山るみ子)

第16回上水道フェア 呈茶

6月1日(日)、百年公園で開催しました。盛り沢山の楽しいイベントの中でのお茶席コーナーでした。晴天に恵まれ、家族や友達づれのお客様が多く、饅頭を添えたお茶の接待は大変喜ばれました。水を大切にする気持ちを広めるフェアで「やっぱりお茶はよかね」という感謝の声を聞くのは嬉しいことでした。今年も日本礼道小笠原流が担当しました。

(茶道部・結城翠泉)

第43回 水の祭典久留米まつりに初参加

8月4日(月)、水の祭典久留米まつり

「二万人のそろばん総踊り」に「連文組」が初参加。木村会長、江口・川口両副会長が先頭に二十余名が、新調の法被と、のぼりで踊りの輪に加わりました。法被

山本小学校訪問 演奏会

5月30日(金)、耳納山麓の自然に囲まれた山本小学校で、ピアノ、声楽、オーボエ、バイオリンの計5名で開催しました。



およそ1時間の演奏会でしたが、子どもたちは目をキラキラさせて、時には「あ!この曲知つとう!」と喜んだり、初めて見る楽器を喰いつくように見たり聴いたり、その純粋な心に触れたひと時でした。演奏後の「楽しかった!」の声が何よりのご褒美でした。

(洋楽部・藤吉浩代)

のデザインは部長を中心にデザイン部の皆さんが担当。創立60周年記念の『連』の文字(宮崎悠雲書道部長揮毫)と連文のマークを綱で繋いで「連文の絆」を表しています。(総合文化部・川口樵博)

スタジオ・ダンス・ドリーマー

第12回ダンス・コンサート

7月13日(日)、久留米市民会館大ホールで開催しました。

ジャズ、タップ、バレエ、ヒップホップとさまざまなジャンルで、「花・星・宙・月・虹」をテーマに、東京・大阪で活躍中の卒業生も加わって、総勢74人のダンサーが熱いステージを披露しました。

スタジオ創立25周年の次回は、新しいホールでのコンサートを目指して精進します。

(洋舞部・城戸玲子)



第48回 仲縄忌俳句大会

6月27日(金)、万緑美しい遍照院にての高山彦九郎先生二百二十一回忌法要のあと、日吉神社の社務所において開催しました。

選者3名の特選句(◎)・佳作句は次の通りです。

小川順子選

◎梅雨寒や自刃の志士の忌を修す

黒田充女

満緑に込み込んでゆく読経かな

笠貴美子

肅々と志士の忌すすむ露涼し

宮崎 みゆき

谷川章子選

◎仲縄忌てふ正面の涼しき灯

宮崎 みゆき

仲縄忌始めて参加明易し

和合 久美子

国憂ふ心は永久にさみだるる

矢野 愛子

◎色々な匂ひ潜めてゐる茂り

黒田充女選

笠貴美子

梅雨の燭灯し仲縄忌を修す

谷川 章子

もじずりを囲み忌日の人親し

谷川 章子

(俳句部・黒田充女)

合同歌集「久留米歌壇」第30集

4月1日に発行しました。

第50回 久留米短歌大会

5月25日(日)、石橋文化センター小ホールで開催。「コスモス」の藤野早苗氏に『秀歌の正体』の演題で講演をお願いしました。

409首の応募の中から選ばれた特選歌は次のとおりです。

◎久留米市長賞

藤野早苗選

ひねもすをまどろむ祖母は笹の舟

どこへも行かずどこへでもゆく

筑後市 井寺 容子

◎久留米市議会議長賞

野田光介選

◎西日本新聞社賞

互選 第二位

も受賞

映画演劇部の活動

【劇団0】

『つわさの家族』

2月15日(土)・16日(日)、久留米市民会館小ホールで開催。親子を取り巻く現代社会の姿をとらえ、いま問題となる

家族の姿をユニークに描きました。

『空の村号』

3月16日(日)、あの3・11を我が事として考え続けるために、福島原発事故を真つ向から見つめました。

【舞台アート工房・劇列車】

『人形劇であそぼ!』

2月15日(土)、金丸校区コミュニティセンターで開催。子どもゆめ基金助成事業として、21名の小学生と人形製作

と実演操作を楽しみました。

◎久留米市教育委員会賞

藤吉宏子選

カルストの野火燃えつきて未黒なる灰にまみれし路の臺あり

福岡市 井上 俊一

◎久留米連合文化会賞

大津留敬選

聖堂の外の面の雷の轟きに応ふる

ごとく受難曲鳴る

うきは市 大津留直

◎西日本新聞社賞

互選 第一位

夜更まで何語りしや嫁ぐ子と夫の

湯呑みが残りし座敷

柳川市 小宮 悦子

(短歌部・名島ミヤ子)

【くろめ市民劇団ほとめき倶楽部】

『ほとめき版真夏の夜の夢』

3月22日(土)・23日(日)、久留米市民会館大ホールで開催。高校生から70代ま

での市民がシェークスピアに挑戦! 楽しい舞台を繰り広げました。



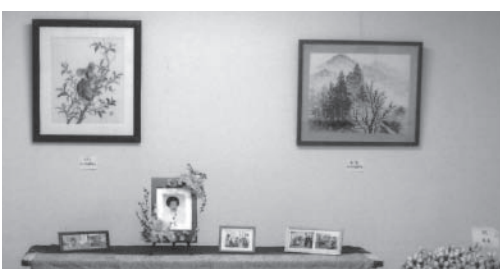
(映画演劇部・釜堀 茂)

追悼

若草会 水墨画作品展

若草会を永年、主宰されました平井香草(治子)先生が2月19日、84歳で逝去されました。先生は昭和42年に久留米連合文化会に入会され、その後のご研鑽ぶりは昭和55年・連合文化会賞、平成元年・連合文化会功労賞、平成11年・久留米市ふるさと市民賞と重ねられた受賞歴に示されています。またそのご指導の場も久留米市はもとより、大木町、柳川市、旧大和町、旧三橋町と広がっていました。

先生のご遺志を受けて開催しました今年の「若草会 水墨画展」(5月20日(火)・25日(日)、石橋文化センターみゅーず市民ギャラリー)には幸い多くの方にご来場いただきました。そのご報告に全員でご自宅に伺いました。ご家族の方にご来場いただき感謝無量の思いでした。



これまで若草会を応援していただき、またご来場いただきました皆様にご来場いただき、心から御礼申し上げます。

(水墨画部・江崎 順香)

第73回国際写真サロン展

4月2日(水)～6日(日)、石橋美術館1階ギャラリーで開催しました。

海外40カ国と国内から9295点の応募があり、審査の結果、海外80点、国内50点を展示。審査員特別賞(海外・国内各3点)に連文会員・一富忠さんの「全身全霊の祈り」が入りました。一富さんは応募最後の昨年6月に亡くなりましたので、最後の作品で目標を達成されたことになり、その画題がひとしお心に沁みます。また連文会員では川島幹夫さんの「同化」が入選しました。

今回は第43回西部写真コンクール展と同時に開催となり、さらに美術部門5名の「ART WORK5」とも会場が重なったため、その相乗効果で特に若い年代の来場者が増えました。

(写真部・久保田精志郎)



第73回国際写真サロン展(上) ART WORK5(下)

ザイン47点、計97点の作品を展示。多種多様な作品の作品が並び、「楽しめる」との好評をいただきました。また出品者同士の交流もでき、ジャンルを超えた展覧会への出発点ともなりました。5人とも次の展覧会へ向けて新たな一歩を踏み出しました。

(書道部・元谷京子)

フジタバレエ研究所 第17回研究生発表会

8月10日(日)、久留米市民会館で開催。

「研究生発表会」は研究生にとり大きな喜びの場であり、また更なる成長の機会ともなっています。

私たちは今回の舞台のためだけに稽古を重ねてきたわけではありません。沢山の大切なことが込められた一回一回のお稽古の時間を、研究生と教師が共有しながら、互いの関係性を深め信頼と愛情を育んできました。フジタバレエ研究所は単に「訓練」や「練習」をする所で

ART WORK5

洋画・書・デザインの5人展

4月2日(水)～6日(日)、石橋美術館1階ギャラリーで開催しました。

宇美拓哉(洋画15点)、成清紅葩・元谷京子(書35点)、市丸美波子・吉本暢子(デザイン47点、計97点の作品を展示。多種多様な作品の作品が並び、「楽しめる」との好評をいただきました。また出品者同士の交流もでき、ジャンルを超えた展覧会への出発点ともなりました。5人とも次の展覧会へ向けて新たな一歩を踏み出しました。

追悼

嗚呼・江島光子さん

江島光子さんが5月16日、89歳の長寿を全うされました。文化推進協議会副会長として連文をご支援いただきました。俳句を嗜まれ、久留米連合文化会賞や国際俳句大会・ジャパンタイムズ賞の受賞もあります。

百年公園の市制100周年記念時計塔建立、青木繁旧居保存等へのご寄付など文化推進にご尽力され、特に三本松公園の西原柳雨句碑(平成13年7月除幕。古川柳研究家)建設には多額のご寄付をいただき、実現へ背中を押してくださいました。

釋尼慈光。在りし日の温顔を偲び、ご冥福を祈りながらお別れします。

(川柳部・堤日出緒)

宇美拓哉の作品が

福岡県議会議長室に



福岡県美術協会会員展で、洋画部宇美拓哉の作品「メランコリア」(F50号)が青木寿賞を受賞し、福岡県議会議長室に昨年12月より1年間掲示される2作品の一つに選ばれました。これは福岡県美術協会会員展に出品された全作品の中から毎年、2作品が選ばれ定期掲示される慣行によるものですが、昨年は全部門約650点の作品の中から

の選出でした。

(事務局)

郷民章を受賞

2月5日(水)、東京ドームホテルでの日本郷土民謡協会創立54周年記念祝賀新年会・各章授与祝賀会で石原正子が「郷民章」を受けました。「郷民章」は永年、協会役員として民謡・民舞の発展に寄与した者に贈られるもので、石原も協会及び地域芸能文化の向上、発展に今後も邁進する決意を新たにしました。

(民謡部・石原正子)

【○日誌○報告】report RENBUN CALENDAR

平成26年 1月～8月初旬

文推協ニューイヤークンサート	1/11(土)・萃香園
心象会展(水墨画)	1/21(火)～26(日)・一番街多目的ギャラリー
第21回池坊一甫会花展	1/25(土)～26(日)・ホテルニュープラザ
連文役員新年会	1/19(日)・ホテルマリタール創世
第12回ジュニア青木繁展	書道 2/18(火)～23(日)・久留米市役所2F
舞台アート工房・劇列車公演「人形劇であそぼ！」	2/15(土)・金丸校区コミュニティセンター
劇団0(ゼロ)公演「つわさの家族」	2/15(土)～16(日)・久留米市民会館小ホール
藤間紋満紀日本舞踊勉強会	3/9(日)・文化センター共同ホール
劇団0(ゼロ)公演「空の村号」	3/16(日)・えーるピア久留米
青木繁旧居 華道展(草月流万年青会中野松芳社中)	3/18(火)～23(日)・青木繁旧居
茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/21(祝)・坂本繁二郎生家
くるめ市民劇団ほとけ俱樂部公演「真夏の夜の夢」	3/22(土)～23(日)・久留米市民会館大ホール
第61回けしけし祭	3/23(日)・かぶと山
合同歌集「久留米歌壇」第30集	4/1(火)発行
第73回国際写真サロン展	4/2(水)～6(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第43回西部写真コンクール展	4/2(水)～6(日)・石橋美術館1Fギャラリー
「ARTWORKS」洋画・書・デザインの5人展	4/20(日)・小林寺
第60回連文茶道部大茶会	4/22(火)～27(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第65回西部水彩公募展	5/1(木)発行
久留米文学第61号	5/4(祝)・石橋文化ホール
久留米児童合唱団第43回定期演奏会	5/13(火)～18(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第8回連文工芸部会員展	5/21(水)～26(月)・岩田屋久留米店
第24回西日本華道連盟久留米支部いけばな展	5/25(日)・石橋文化会館小ホール
第50回久留米短歌大会	5/30(金)・山本小学校
山本小学校訪問演奏会(洋楽部)	5/31(土)・ホテルマリタール創世
平成26年度連文定期総会・祝賀会	6/1(日)・久留米市百年公園
上水道フェア呈茶(日本礼道小笠源流)	6/27(金)・遍照院
第48回仲縄忌俳句大会	7/13(日)・青木繁旧居
青木繁旧居呈茶(江戸千家久留米不白会)	7/13(日)・久留米市民会館大ホール
スタジオダンスドリマー第12回ダンスコンサート	7/20(日)・くるめりあ六ツ門6階
裏千家淡交会久留米青年部納涼茶会	8/4(月)・明治通りおまつり広場
第43回水の祭典久留米まつりに参加(総合文化部)	8/10(日)・久留米市民会館
フジタバレエ研究所第17回研究生発表会	通 年・青木繁旧居
青木繁旧居 生け花展示(草月流万年青会中野松芳社中)	通 年・JR久留米駅構内
JR久留米駅 生け花展示(小原流草月流・嵯峨御流/毎週交代)	

平成26年 9月～12月

【○芸術散策○行事のお知らせ】information RENBUN CALENDAR

連文水墨画部作品展	9/2(火)～7(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第34回連文会員華道展	9/3(水)～8(月)・岩田屋久留米店
創元会第34回福岡支部展	9/17(水)～21(日)・石橋美術館1Fギャラリー
レフルールデザール若き芸術家たちの花束	9/20(土)・石橋文化センター共同ホール
第18回下水道フェア呈茶(表千家不白流)	9/23(火)・南部浄化センター
日舞勉強会	10/5(日)・久留米市民会館第ホール
木村フォトセミナー写真展2014	10/8(水)～12(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第63回久留米市総合美術展	10/8(水)～26(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第44回連文会員美術展	10/8(水)～26(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第50回久留米三曲協会定期演奏会	10/5(日)13時～・石橋文化センター共同ホール
久留米吟詠道連盟第55回吟剣詩舞道大会	10/12(日)9時30分～・石橋文化センター共同ホール
ミシエルタルベルトピアノリサイタル	10/12(日)・石橋文化ホール
平成26年度おさらい会(三川会)	10/16(木)・久留米市民会館小ホール
第26回南祥会書作家展	10/21(火)～26(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
第10回久留米ジュニア川柳誌上大会表彰式	10/25(土)・久留米市庁舎くるみホール
第42回書作家展(連文書道部)	11/5(水)～9(日)・石橋美術館1Fギャラリー
連文デザイン部展	11/8(土)～16(日)・大川市立清力美術館
第68回久留米茶道連合会法要大茶会	11/9(日)・梅林寺
第66回西部示現会展	11/12(水)～16(日)・石橋美術館1Fギャラリー
第61回桃青忌俳句大会	11/23(祝)・御井校区コミュニティセンター
管弦楽団「響&ムジカソナーレアンサンブル	11/23(祝)・石橋文化ホール
筑後・詩の集い	11月予定
裏千家淡交会久留米支部第61回歳末助け合い茶会	12/7(日)・くるめりあ六ツ門6階
第20回賢順記念くるめ全国争曲祭	12/7(日)・石橋文化ホール
青木繁旧居 生け花展示(草月流万年青会中野松芳社中)	通 年・青木繁旧居
JR久留米駅 生け花展示(小原流草月流・嵯峨御流/毎週交代)	通 年・JR久留米駅構内

作品募集

第10回久留米ジュニア川柳誌上大会
今年のテーマは「こはん」。市内の児童生徒の皆さんから川柳を募集。応募期間は9月12日(金)まで。応募先は久留米連文文化会です。(川柳部)

第13回久留米ジュニア青木繁展
児童生徒の皆さんから絵画と書道の作品を募集。応募期間は12月15日(月)から19日(金)まで。詳しくは応募要項を参照(事務局にて配布)。(美術部)

計報(平成26年1月～7月)

謹んでご冥福をお祈り致します。

平井 香草さん (水墨画部)	平成26年2月19日
藤田 三保子さん(短歌部)	平成26年4月27日
江島 光子さん (文推協副会長)	平成26年5月26日
津留 亨 さん (名誉会員 写真部)	平成26年7月27日